

学年	2学年		教科 目標	(1) 自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身につけさせるとともに、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てる。 (2) 様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身につけさせるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。 (3) 目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身につけさせるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てる。				
教科	国語科			月	課	単元名	時数	学習内容
4		明日(詩) アイスプラネット(小説)書写(硬筆)	11				詩の表現に着目し、作者の「明日」の受け止め方や感じ方を捉える。 ・作者の「明日」の受け止め方や感じ方、表現の特徴などについて感想をもち、友達と交流する。 ・登場人物の言動や心情を表す表現から、「僕」の心情の変化を捉える。	表現の特徴や、作者のものの見方や感じ方について、自分なりに感想をもっている。 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解している。
5		枕草子(古文) 説明のしかたを工夫しよう 言語1 類義語・対義語・多義語 文化を伝えるチンパンジー(説明)	18				「枕草子」を朗読し、古文に読み慣れる。四季の趣について、作者の感じ方を読み取る。 文章構成を捉える。 ・本文を序論・本論・結論の部分に分け、それぞれの役割を考える。 ・中心となる段落やキーセンテンスを確かめ、他の段落や文との関係をつかむ。	枕草子」の内容に興味をもち、朗読して内容を理解しようとしている。描写の効果を考えて内容を理解し、作者の季節感に対するものの見方や考え方について、自分の季節感と比較したり、知識や経験と関連づけたりして感想をまとめている。 文章の全体と部分の関係や具体的事例の役割に注意して読み、内容の理解に役立っている。
6		印象に残る説明をしよう(発表) 漢字1 熟語の構成 新しい短歌のために(短歌)書写(硬筆) 言葉を選ぼう(表現) 文法1 自立語	18				進行案をもとに、グループごとにプレゼンテーションを行う。 「新しい短歌のために」を通読し、短歌の特色などを知るとともに、六首それぞれに込められた心情や情景を想像する。	話の構成や話し方に注意しながら聞き、要点を捉えている。 説得力を増すための話の構成や話し方に注意し、質問を考えながら聞いている。 短歌の形式や表現に興味をもち、その世界に親しもうとしている。
7		メディアと上手に付き合うために(情報) 気になる「あの人」を探ろう(読書) 旅する絵描き(読書) 五重の塔はなぜ倒れ	10				「メディアと上手に付き合うために」を通読し、メディアの利用方法について考える。 読書教材を読み、興味・関心を抱いたことや内容、表現の工夫について気づいたことなど、友達と感想を交流し合う。	メディアの特徴に興味をもち、付き合い方について考えを深めたり、調べ学習や日常生活に生かしたりしようとしている。 語句の意味を捉え、描写の効果を考えながら読み、読書に親しむ。
9		盆土産(小説) 字のないはがき(随筆) 言語2 敬語	12				登場人物の様子が描かれている表現を抜き出し、読み取れる人柄や心情を考える。 教材文を読み、敬語の働きや種類(丁寧語・尊敬語・謙譲語)について理解する。	登場人物の人柄や思いを文章表現から読み取ろうとしている。 効果的に使われている語句や文章表現に気づき、登場人物の人柄や心情についてまとめようとしている。 敬語には丁寧語・尊敬語・謙譲語があることを理解し、相手に応じて使っている。
10		気持ちをこめて書こう(表現) 君は「最後の晩餐」を知っているか(評論) 「平家物語」から(古文)	12				言葉の使い方や論理展開のしかたに注意しながら、筆者のものの見方や考え方を捉える。 古文に特有の語句など、意味のわからない語句を挙げ、現代語訳で確認する。	筆者のものの見方や考え方が、どのように叙述されているか読み取ろうとしている。 作品のもつ独特の調子やリズムを生かして朗読し、情景描写や登場人物の言動の意味について考えようとしている。
11		漢詩の風景 話し合ってみよう(議論) 文法 用言の活用	18				漢詩に描かれた世界を解説文とともに読み味わう。 「用言の活用」を読み、動詞・形容詞・形容動詞の変化のしかたと種類について理解する。	漢詩三編と解説文を朗読し、漢詩独特の言い回しを味わい、詩の情景や人物の心情について考えをまとめ、友達と交流している。 用言の活用について理解を深め、さまざまな言葉について活用の規則性を整理しようとしている。
12		モアイは語る(論説) 意見文を書く(表現) 漢字 同じ訓・同じ音をもつ漢字 走れメロス(小説)	10				筆者の意見を読み取る。 ・筆者の意見が書かれている段落を見つけ、内容を読み取る。 描写や会話に着目して、登場人物の人物像の変化を捉える。	イースター島の出来事について、筆者が主張をしていることを読み取ろうとしている。 主張に至るまでの、筆者の論理展開や表現の工夫などについて考えようとしている。 登場人物の変化を読み取り、作品に描かれた「友情」や「正義」に対する考え方と自分の考えを比べている。
1		文法 付属語 物語を創作しよう(表現) 書写(毛筆)	10				「付属語」を読み、助詞・助動詞の働きと種類について理解する。 楷書と行書の基本を理解する。	付属語の働きと種類について理解を深め、自分の表現や読解に生かそうとしている。 楷書と行書の違いを理解し、すすんで毛筆に親しもうとする。
2		言語 方言と共通語 漢字3 送り仮名	11				教材文を読み、方言と共通語について考える。 ・方言による語句・表現・文法・発音の違いを知る。 ・共通語の必要性について考える。	方言と共通語のそれぞれの役割や特徴について自分なりの考えをもとうとしている。
3		身近な人の「物語」を探る(聞き書き) 言葉の力(随筆)書写(毛筆)	10				インタビューをして文集にまとめる。 筆者の考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ。 楷書と行書の応用を理解する。	インタビューがスムーズに行えるように準備をし、その人の物語が効果的に伝わるように工夫して書こうとしている。 自分の言葉の使い方を見つめ直し、言葉と人との関わりについて考えをまとめようとしている。 楷書と行書の違いを理解し、すすんで毛筆に興味を持つ。
			140				合計授業時間数	